

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	リコシェ・エイチエスティー	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.530	△RG	0.044	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：リコシェ・エイチエスティー

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離
4-1/2 インチ

番

比較対照ボール：スポイラー

フレアーの幅 インチ

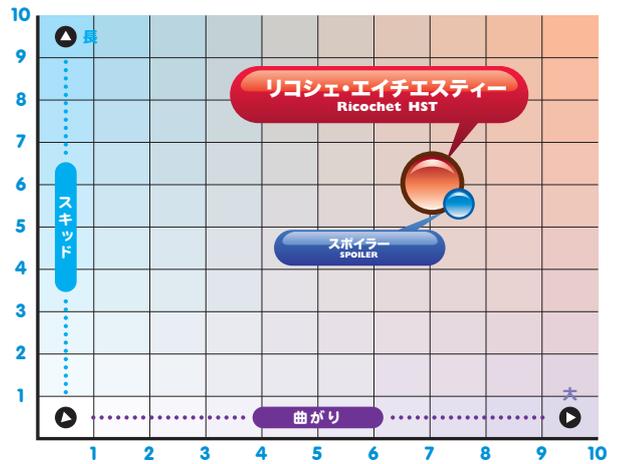
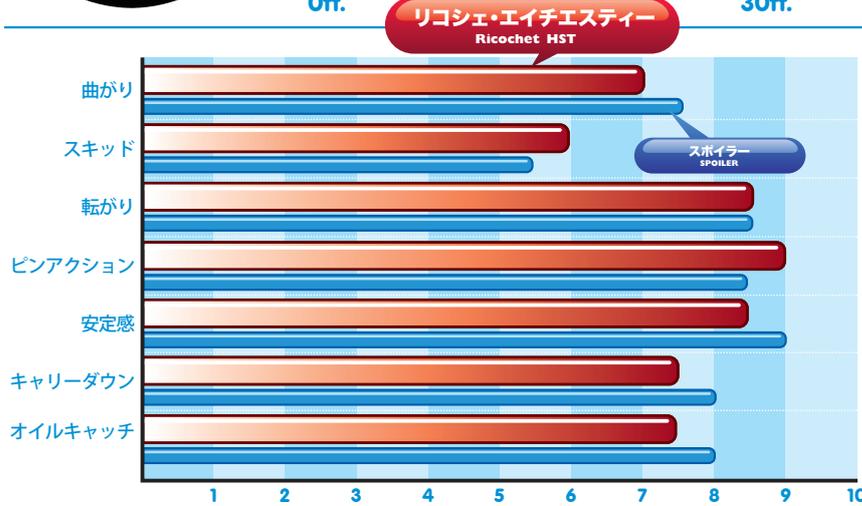
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離
4-1/2 インチ

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

リコシェブランドは2001年7月のReaction Ricochetから2011年9月のMiracle Ricochet SEまで約10年にわたり様々なPerformanceを輩出してきました。ABS独自の市場調査ではユーザーがColumbia社に望む、または復活を期待する製品としてRicochetの声が多いことを踏まえ、リコシェのイメージを現代のカバーストックとコアテクノロジーに置き換え、さらなる息吹を融合させRicochetを復活致します。まず私たちABSボール開発チームが一番に重点を置いたのが、皆さんが思い描いている”先でのシャープなリアクション”でした。EBI (Ebonite International) にある様々なコアを検証してRicochetを名乗るに相応しいコアをSpoilerに設定しました。Pearl、Hybrid、Solidと数種類テストングでスキッド、キャッチ、ロールのバランスが最も”Ricochetらしい”カバーストックもコンセプトの一つ”Black Solid”で仕上がりました。またColumbia社と言えば飛躍的にピンキャリアを増大させる特徴的なHyper Shock Technologyを装して、”走る”、”切れる”、”ピンの飛びが凄まじい”ボールを目指したのがこのRicochet HSTです。今回は同コアのSPOILERと比較投球しましたが、Ricochet HSTはSPOILERよりも走りが強く、曲がり奥に集約されているのが読み取れます。SPOILER Coreは高めのRGで奥に動きを強調させるコアですが、よりスキッドさせることでそのパワーを一気にバックエンドに放出する意図もRicochet HSTにチョイスした理由でもあります。今まで走り系のボールはピンアクションが硬く、飛びが悪い」という印象を持たれている方も多いと思います。しかしHP (High performance) 領域で使われる贅沢な素材をMP (Mid Performance) 領域に使い、シャープなバックエンドリアクションからピンキャリアまでユーザーを魅了させるのがこのRicochet HSTの狙いでもあります。往年Ricochetを使いバックエンドの動きに魅了され使って頂いた皆様、またぜひRicochetブランドの切れ味をお楽しみください。

特記事項

RicochetとHST (Hyper Shock Technology) との融合はCOLUMBIAならではの言うべきでしょう。 ”切れ”と”ピンキャリア”みなさんが欲しがらる逸品がこのRicochetにはあります！